

令和5年10月熊野市教育委員会会議録

1. 日 時 令和5年10月19日(木) 午後4時00分から
2. 場 所 熊野市役所5階 第2委員会室
3. 出席者 倉本教育長 根引委員、糸川委員、高見委員、北野委員
4. 事務局説明員
雑賀総務課長、伴学校教育課長、柳本社会教育課長、
泉総務課庶務係長
5. 教育長報告
6. 議 事
議案第1号 熊野市特別支援教育に係る副次的な籍制度実施要綱(案)につ
いて
7. その他
紀南教育委員会連絡協議会視察結果について
令和6年「二十歳を祝う会」について

□開会(開会の宣言)

(教育長) ただいまから、令和5年10月熊野市教育委員会会議を始めさせていただきます。事項書に沿って進めてまいります。

□教育長報告

(教育長) 事項2 報告、別紙をご覧ください。

(経過報告、事件・事故等、今後の予定・その他について報告)

(教育長) 教育委員会報告の中で何か質問等ございませんでしょうか。

(委 員) いつもであれば、総合教育会議の前に事前研修みたいなものがあるんですけど、今回は無しでしょうか。

(教育長) 事前研修なり学習会をおこなってきたんですが、できるだけ早い段階で資料をお届けするということですね、今回はおこなわないということでご理解ください。あまり他市町ではやっていないことでして、そろそろ止める時期かなと判断させていただきました。

(委 員) はい。

(教育長) そのほかございませんでしょうか。

(教育長) よろしいでしょうか。

(委 員) はい。

(教育長) ありがとうございます。それでは、事項3 議事に入ってまいります。
議案第1号 熊野市特別支援教育に係る副次的な籍制度実施要綱

(案) についてお願いします。

(事務局) (熊野市特別支援教育に係る副次的な籍制度実施要綱 (案) について提案)

(教育長) こちらにつきましては、保護者の希望があればそういう籍を置くということで、保護者が希望しなければこれはおこなわないということです。質問等ございませんでしょうか。

(委員) これは、例えば1か月に1回とか、1学期に1回とか、特別支援学校に行っているお子さんが、市内の小学校とか中学校に来られるという理解でいいんでしょうか。こちらの小中学校の児童生徒らが向こうに行くというんではなしに、来られると理解していいんですね。

(事務局) 想定しているのは、お配りした資料の真ん中の表のところに大きな矢印があるんですけど、特別支援学校の生徒が地域の小中学校へということで、今、委員おっしゃっていただきました、その学校へ行くというのが一番想定はされていますが、その下には直接交流ということで双方の矢印が出ております。学校によってそのあたり、あるいは子どもの状態によってやっていただけたらなと考えております。併せて、様式集の一番最後のところに、副次的な籍制度に基づく交流学習による実施記録という様式を作っております。この様式で実施記録を作っていただいて学校教育課へ出していただく形をとろうかなと思っています。

(委員) ありがとうございます。1学期に1回程度とか考えてらっしゃるんでしょうか。それともまだ決まってないでしょうか。

(事務局) 実施記録は1学期、2学期、3学期となっていますが、そこは臨機応変にやっていただくつもりでおります。回数を特定せずに、場合によっては集中して、回数を使ったりすることもあるかと思っておりますので、今のところ、何回というふうには考えておりません。

(委員) ありがとうございます。

(教育長) その他ありませんでしょうか。

(事務局) 追加といたしますか、なお、なんですが、今現在県立の特別支援学校というと、熊野市からはくろしお学園の小学部、中学部に入っているお子さんがおります。小学部に4名、中学部は1名行っている状況です。この人たちは該当になってきますので、私共が行って説明してよいかなど思っております。なお、現段階で来年度新入学の予定はありません。

(教育長) 障害の種別についても様々ですので、学校としての受け入れ態勢も万全を期していかなければならないということになります。そのほか

ございませんでしょうか。

(委員) 何名くらい来られるという予定はあるのでしょうか。それとも全くの白紙でしょうか。

(事務局) 今のところその5名の方の希望というのは全然掴んでおりませんのでわかりません。

(委員) 地域の子どもがお互いを知る大変いい制度だと思うんですけど、学校として受け入れ態勢が大変難しいことがあると想定されますよね。特に施設、設備面かな。そういう面で難しい。直接来れなくてもオンラインで交流するとか、そういうふうな取組ができたらいいなと思ってますけど。

(教育長) その点について学校教育課長。

(事務局) 委員ご指摘のとおり、環境整備、特にバギーでしか移動できないお子さんとかみえますんで、そういうところについて、環境整備をどのようにしていくかというのも課題というふうに感じておりました、実は、先行してやっている松阪市あたりにも問い合わせをしたところ、今の段階ではそういったお子さんの交流が無いので、環境整備までは考えてないということと、県教委の方にも確認したんですが、この副次的な籍制度の関係での環境整備についての例えば国からの補助金であったりとか、そういうのはと聞いたところ、現段階では無いというふうに言われました。なので、出来る範囲の中でやっていくことになるかなと思っております。

(委員) わかりました。ありがとうございます。

(教育長) その他ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) それでは、議案第1号 熊野市特別支援教育に係る副次的な籍制度実施要綱(案)について承認いただけますでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) ありがとうございます。続いて事項4に移ってまいります。報告、事務局特にありませんでしょうか。

(事務局) 特にございません。

(教育長) それでは事項5 その他 紀南教育委員会連絡協議会視察結果について総務課お願いします。

(事務局) (紀南教育委員会連絡協議会視察結果について説明)

(教育長) 続いて令和6年「二十歳を祝う会」についてお願いします。

(事務局) (令和6年「二十歳を祝う会」について説明)

(教育長) 成人式のことについて何か聞いておきたいこととかは無いでしょうか。1月3日を空けておいていただきたいと思います。

(教育長) よろしいでしょうか。

(委員) はい。

(教育長) 詳細については、今後また教育委員会会議でお示しさせていただきます。ご意見もいただきます。全体をとおして質問、提案等ございませんでしょうか。

(教育長) 何かありませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、これをもちまして令和5年9月教育委員会会議を閉じさせていただきます。次回の開催は、11月30日木曜日午後4時から、これは総合教育会議が終わり次第ということで少し流動的ですが、場所は文化交流センター多目的ルームでございます。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。